



# えんじゅ

春日市立春日小学校  
校長室便り No.23  
令和3年2月18日  
文責：校長 福島

## 先生の仕事 ～外国語指導～



本年度から学習指導要領（国が定める教育内容の規準）が新しくなり「外国語科」が新設されました。5・6年生は週に2回程度「外国語科」を、3・4年生は週に1回程度、1・2年生は月に1回程度「外国語活動」の指導をしています。

外国語の指導には、発音をはじめとして専門性が求められます。本校には、3人の外国語の先生がいます。すべての学年で、担任と協力しながら専門性を生かして楽しい外国語の学習を展開しています。

「本年度から」と書きましたが、準備期間として約10年前から「外国語活動」を行ってきましたので、子供たちにとっては国語や算数と同じように外国語の学習があるのは当たり前な感覚なのでしょう。

学習の様子を見ても、3人の先生のネイティブな発音を自然に聞き取り、ゲームに取り組んだり英語で表現したりしながら楽しく学習に取り組む様子が見られます。そんな様子を見ると、中学、高校と段階的に指導を重ねていくことで、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ることができるようになるだろうと思います。

今日紹介した先生の存在は、外国語学習の充実という点以外にも価値があります。3人とも豊かな国際感覚を身につけた方です。そのグローバルスタンダードが子供たちや職員に浸透し、「多様性の理解」につながっています。

新年の給食に雑煮と黒豆が出た時のエピソードです。「なぜお正月に黒豆を食べるのですか。」「それはですね、元気に“まめ”に生きてほしいという願いがあるのです。」Did you understand? 「まめ…？」こんなやり取りがありました。日本文化の再認識です。

小学校期から、しっかりとグローバルな感覚を育てていきます。